



上半期のダート頂上決戦! 2023 帝王賞生中継

～スペシャルゲスト 福士蒼汰～

6月28日(水)より7時より放送

この度、日本BS放送株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長 近藤 和行、以下「BS11」)は、6月28日(水)より7時より、上半期のダート頂上決戦『帝王賞(JpnI)』を今年も生中継にてお送りします。第46回を迎える今回も、豪華な実力馬が集結します。

また、番組のスペシャルゲストとして、俳優の福士蒼汰さんが登場。CM撮影でのエピソードや『帝王賞』の注目馬を発表します。

上半期のダートチャンピオン決定戦の行方はいかに?白熱のレース展開に、是非ご期待ください。



※レース写真は2022年の模様

<放送日時>

6月28日(水)より7時00分～8時58分

<出演者>

MC:TIM(レッド吉田・ゴルゴ松本)
解説者:三浦風沙(サンケイスポーツ)
八重樫英貴(競馬ブック)
アナウンサー:大関隼
(ラジオNIKKEI)

<スペシャルゲスト>

福士蒼汰

<レースの注目POINT>

『帝王賞』が1995年にダート交流重賞となって以降、アブクマポーロ、メイセイオペラ、アジュディミツオー、フリーソラ、地方競馬の歴史に名を残す馬たちが勝ち馬に名を連ねている。地方馬が8勝と健闘が目立つが、2011年以降は中央馬が連勝中。ダート中距離のトップホースが出走するため、上位人気での決着が多いが、21年は10番人気のノンコノユメ(大井)が2着に入り、3連単は238万円の波乱となった。

レースが行われるのは大井2000m外回りコース。スタートから最初のコーナーまで約500m、最後のゴールまでの直線も386mと、地方競馬では直線がもっとも長いコース。枠順の有利・不利も少なく、各馬が力を発揮しやすい舞台と言える。『帝王賞』の他にも、『東京ダービー』『ジャパンダートダービー』『東京大賞典』などの大レースが行われる、まさにチャンピオン・ディスタンス。上半期のビックレースの行方に目が離せない!

また、『帝王賞』のほかにも、10Rと12Rもライブにて放送、東京シティ競馬の魅力をお伝えします。

<https://www.bs11.jp/sports/teiosho2023/>

11R『帝王賞(JpnI)』→より8時10分 発走予定



BS11は、質の高い情報を提供することで、人々に感動を与え、幸せな社会づくりに貢献します。

